



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月30日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3624 URL <http://www.axelmark.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾下 順治
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部マネージャー (氏名) 朝居 宏文 TEL 03-5354-3351
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	2,358	△8.3	△24	—	△30	—	△53	—
26年9月期第3四半期	2,572	△0.0	54	166.1	51	65.8	25	17.6

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 △53百万円 (—%) 26年9月期第3四半期 25百万円 (17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	△12.33	—
26年9月期第3四半期	5.75	5.65

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
27年9月期第3四半期	1,869		1,532		81.9
26年9月期	2,029		1,585		78.1

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 1,531百万円 26年9月期 1,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,038	△10.4	△35	—	△41	—	△67	—	△15.33

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 1社（社名）Game Creator Incubation有限責任事業組合、除外 1社（社名）－
 （注）詳細は、添付資料のP.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	4,370,900株	26年9月期	4,370,900株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	33株	26年9月期	33株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	4,370,867株	26年9月期3Q	4,370,883株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続の実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境としては、スマートフォンの高機能化と通信環境の快適化が進み、スマートフォン利用者の増加傾向が続いております。平成27年3月末におけるスマートフォンの普及率は60.6%に達し(内閣府消費動向調査)、人々の生活や消費スタイルに新しい変化を及ぼしております。モバイルコンテンツ市場におきましても、平成24年から平成25年にかけて前年比127%である1兆783億円の規模に拡大しており、特にスマートフォン等市場においては前年比224%である8,336億円の規模へ急拡大しております(一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ)。

このような市場環境の下、当社は今後もスマートフォンの普及とモバイルコンテンツ市場の拡大は続くと考えており、競争の激化はみられるものの、市場の拡大期に存在する大きな機会をとらえるために、モバイルインターネット領域を主要な事業ドメインと位置付けて事業展開をしております。

モバイルゲーム事業においては、ネイティブゲームのヒット創出を今期の事業戦略に掲げており、平成27年1月に「大乱闘!!ドラゴンバレード」を株式会社セガゲームス セガネットワークスカンパニーと協業でリリースし、3月には「キングダム -英雄の系譜-」を株式会社ディー・エヌ・エーとの協業でリリースいたしました。特に「キングダム -英雄の系譜-」に関しましては原作となる漫画が5月にテレビ番組で特集されるなどの影響もあり好調に推移しております。一方で前記のような他社との協業によるタイトルのネット(純額)売上の比率がグロス(総額)売上に比べて増加した結果、減収となっております。

また、事業運営の効率化の観点から連結子会社である株式会社Interrapsの開発チーム及び開発ラインを連結子会社であるアクセルゲームスタジオ株式会社に引き継ぎ、経営の一体化を図りました。なお、株式会社Interrapsに関しては平成27年3月に解散を決議しております。

広告事業においては、主要顧客の単価の引き下げなどを背景に当第3四半期会計期間においては売上が減少しております。

コンテンツ事業においては、スマートフォン向けコミック時間読みサービス「コミックルーム」のサービスを6月末に停止いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,358,119千円(前年同期比8.3%減)、営業損失は24,611千円(前年同期は54,065千円の営業利益)、経常損失は30,070千円(前年同期は51,314千円の経常利益)となり、四半期純損失は53,900千円(前年同期は25,153千円の四半期純利益)となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

(モバイルゲーム事業)

モバイルゲーム事業につきましては、当セグメント特有のボラタリティをヘッジする目的で他社との協業によるゲームタイトルのリリースを推進しております。その取り組みの中で、平成27年3月に株式会社ディー・エヌ・エーとの協業でリリースした「キングダム -英雄の系譜-」が当第3四半期会計期間において順調に推移し収益に貢献いたしました。一方、このような状況からモバイルゲーム事業の売上に占める他社協業タイトルのネット(純額)売上の比率が自社で運用配信しているタイトルのグロス(総額)売上に比べて増加しており、結果として減収となっております。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,146,783千円(前年同期比16.8%減)、セグメント利益は88,438千円(前年同期比40.3%減)となりました。

(広告事業)

広告事業につきましては、主力であるスマートフォン向けアドネットワーク「ADroute」の収益性を重視し、利益率の改善に努めてまいりましたが、当第3四半期会計期間においては主要顧客の単価の引き下げなどを背景に平成27年3月に過去最高の売上を計上するなどした第2四半期会計期間と比べ売上が大きく減少しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は905,276千円(前年同期比13.9%増)、セグメント利益は47,097千円(前年同期比8.1%減)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業につきましては、スマートフォン向けコミック時間読みサービス「コミックルーム」のサービスを6月末に停止いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は305,926千円(前年同期比23.7%減)、セグメント利益は10,457千円(前年同期比63.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が79,113千円増加したものの、売掛金が124,370千円、のれんが82,885千円、仕掛品が45,328千円減少したこと等により前期末に比べて159,642千円減少し、1,869,692千円となりました。

負債については、短期借入金65,000千円増加したものの、買掛金が73,532千円、未払法人税等29,794千円、賞与引当金15,612千円、その他流動負債が51,168千円減少したこと等により前期末に比べて106,485千円減少し、337,588千円となりました。

純資産については、四半期純損失53,900千円の計上等により、前期末に比べて53,156千円減少し、1,532,104千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

モバイルゲーム事業につきましては、「大乱闘!!ドラゴンパレード」の大幅な不調やリリース時期未定の新作タイトルの状況から新作タイトルリリース時に計上を見込んでいる初期開発費売上を見込まずに売上全体を保守的に予測しております。

広告事業につきましては、当第3四半期連結会計期間に見られた主要顧客の単価下落が第4四半期連結会計期間においても続くと考えております。

コンテンツ事業につきましては、キャリアプラットフォーム向けサービスの売上が第4四半期連結会計期間においても引き続き漸減傾向が続くと考えております。

当社グループの事業を取り巻く環境が急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、四半期毎の業績発表時に翌四半期の業績予想を公表させて頂いております。なお、下記の「平成27年9月期通期業績予想」は、平成27年9月期第3四半期連結累計期間の実績値に、第4四半期連結会計期間の業績見通しを加算したものとっております。

平成27年9月期通期業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

売上高	3,038百万円(前年同期比10.4%減)
営業利益	△35百万円(前年同期は55百万円の営業利益)
経常利益	△41百万円(前年同期は53百万円の経常利益)
当期純利益	△67百万円(前年同期は20百万円の当期純利益)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、Game Creator Incubation有限責任事業組合を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,064,593	1,143,706
売掛金	521,045	396,675
仕掛品	45,328	—
貯蔵品	1,480	1,249
その他	56,958	69,946
貸倒引当金	△6,813	△234
流動資産合計	1,682,593	1,611,342
固定資産		
有形固定資産	19,504	16,655
無形固定資産		
のれん	259,291	176,405
その他	3,160	1,959
無形固定資産合計	262,451	178,365
投資その他の資産		
敷金及び保証金	64,784	63,328
その他	0	0
投資その他の資産合計	64,784	63,328
固定資産合計	346,740	258,349
資産合計	2,029,334	1,869,692
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,978	141,445
短期借入金	—	65,000
未払法人税等	32,215	2,420
賞与引当金	34,394	18,782
ポイント引当金	10,999	9,621
その他	151,486	100,318
流動負債合計	444,074	337,588
負債合計	444,074	337,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	563,900	563,900
資本剰余金	1,116,770	1,116,770
利益剰余金	△95,527	△149,427
自己株式	△25	△25
株主資本合計	1,585,117	1,531,217
新株予約権	142	886
純資産合計	1,585,260	1,532,104
負債純資産合計	2,029,334	1,869,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,572,078	2,358,119
売上原価	1,578,016	1,482,593
売上総利益	994,061	875,525
販売費及び一般管理費	939,996	900,137
営業利益又は営業損失(△)	54,065	△24,611
営業外収益		
受取利息	659	777
その他	204	307
営業外収益合計	864	1,084
営業外費用		
支払利息	93	94
株式上場関連費用	2,386	4,122
解約違約金	964	—
支払手数料	—	1,500
その他	169	826
営業外費用合計	3,614	6,542
経常利益又は経常損失(△)	51,314	△30,070
特別損失		
訴訟和解金	—	17,000
特別損失合計	—	17,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,314	△47,070
法人税、住民税及び事業税	26,161	6,830
法人税等合計	26,161	6,830
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	25,153	△53,900
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,153	△53,900

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	25,153	△53,900
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	25,153	△53,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,153	△53,900
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,378,716	792,302	401,060	2,572,078	—	2,572,078
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,400	—	2,400	△2,400	—
計	1,378,716	794,703	401,060	2,574,479	△2,400	2,572,078
セグメント利益	148,026	51,246	28,598	227,871	△173,806	54,065

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,871
のれんの償却額	△45,389
全社費用(注)	△128,417
四半期連結損益計算書の営業利益	54,065

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	モバイル ゲーム事業	広告事業	コンテンツ 事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	1,146,783	905,267	305,926	2,357,977	142	2,358,119
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8	—	8	△8	—
計	1,146,783	905,276	305,926	2,357,985	133	2,358,119
セグメント利益	88,438	47,097	10,457	145,993	△170,605	△24,611

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	145,993
のれんの償却額	△45,389
全社費用(注)	△125,215
四半期連結損益計算書の営業損失	△24,611

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。